

旅客視点の指標に基づくダイヤ乱れ時の 列車順序・間隔整理手法

佐藤圭介 平井力

ダイヤ乱れが発生すると、列車運行を正常に戻すため、列車ダイヤに一連の変更が加えられることがあります。こ

の業務は運転整理と呼ばれ、限られた時間の中で適切な判断が求められます。本研究では、運転整理を構成する各変更手配のうち、列車が発車する順序、列車が駅で使用する番線、列車の発車間隔等に注目し、これらの変更案を旅客視点の指標に基づいて算出する手順を考案しました。図に計算結果の例を列車ダイヤ図の形で示します。横軸は時刻、縦軸は

駅の位置を表し、斜めの直線スジが列車の動きとなります。太いスジが快速列車、細いスジは各駅停車列車です。遅延を最小化した結果と比較して、旅客の乗車時間等を最小化した結果では、列車の間隔が概ね等間隔になるといった結果を具体的に算出できることを示しました。

